

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	鳥取大学
設置者名	国立大学法人 鳥取大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域学部	地域学科(地域創造コース)	夜・通信	57	28	8	93	13	
	地域学科(人間形成コース)	夜・通信			27	112		
	地域学科(国際地域文化コース)	夜・通信			24	109		
	地域政策学科	夜・通信			0	85		
	地域教育学科	夜・通信			0	85		
	地域文化学科	夜・通信			0	85		
	地域環境学科	夜・通信			13	98		
医学部	医学科	夜・通信	9	0	41	50	19	
	生命科学科	夜・通信	45		37.5	82.5	13	
	保健学科看護学専攻	夜・通信	49		110	159		
	保健学科検査技術科学専攻	夜・通信	48		72	120		
工学部	機械物理系学科	夜・通信	61	3	38	102		13
	電機情報系学科	夜・通信	53		24	80		
	化学バイオ系学科	夜・通信	57		40	100		
	社会システム土木系学科	夜・通信	57		52	112		

農学部	生命環境農学科 (国際乾燥地農学コース)	夜・通信	31	37	129	13		
	生命環境農学科 (里地里山環境管理学コース)	夜・通信		40	132			
	生命環境農学科 (植物菌類生産科学コース)	夜・通信		29	121			
	生命環境農学科 (農芸化学コース)	夜・通信		18	110			
	生物資源環境学科 (フードシステム科学コース)	夜・通信	61	16	84	13		
	生物資源環境学科 (生物生産科学コース)	夜・通信		20	88			
	生物資源環境学科 (植物菌類資源科学コース)	夜・通信		7	16		84	
	生物資源環境学科 (生命・食機能科学コース)	夜・通信			9		77	
	生物資源環境学科 (環境共生科学コース)	夜・通信			22		90	
	生物資源環境学科 (国際乾燥地科学コース)	夜・通信			17		85	
	共同獣医学科	夜・通信			18		0	77
	(備考) 学生等の募集を停止(平成29年度)している学部等は以下のとおり。 ・地域学部(地域政策学科、地域教育学科、地域文化学科、地域環境学科) ・農学部(生物資源環境学科)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.tottori-u.ac.jp/3890.htm>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取大学
設置者名	国立大学法人 鳥取大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tottori-u.ac.jp/1250.htm>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	国立大学法人（他法人） 職員	平成31年4月1日～令和3年3月31日	総務、財務、 施設・環境担当
常勤	地方公共団体職員	平成31年4月1日～令和3年3月31日	地域連携担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取大学
設置者名	国立大学法人 鳥取大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学の授業計画(シラバス)の統一項目は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当教員所属・研究室 2. オフィスアワー 3. 担当教員への連絡方法 4. 授業の目的と概要 5. キーワード 6. 到達目標 7. 他の科目との関連 8. 教科書(テキスト)・参考書 9. 授業の形式 10. 成績の評価方法と基準 11. 担当教員からのメッセージ 12. 授業計画 <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業内容、(2) 予習・復習内容 13. 教育グランドデザインとの関連 14. 卒業認定・学位授与の方針との関連 15. 授業のレベル 16. 実務経験のある教員による授業科目 <p>各授業担当教員が、シラバス記載要領に沿って、前年度の2月中旬までに授業計画(シラバス)を作成し、3月上旬にWebシステムにて公表している。</p> <p>また、シラバス記載内容に不備がある科目を抽出し、当該科目の担当教員に改善を依頼することにより、本学における教育の質保証を高める取組を本学教育センターにおいて実施している。</p> <p>・シラバス記載要領 (https://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=2551)</p>	
授業計画書の公表方法	http://syllabus.adm.tottori-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定規則、成績の評価基準を定めるとともに、授業科目の授業計画(シラバス)上で「成績の評価方法と基準」を公表し、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により単位を授与している。</p> <p>また、成績評価に関する申し合わせにより、学生に成績評価に対する疑義申し立てができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位認定規則 (履修案内に掲載) (https://www.tottori-u.ac.jp/secure/5967/2019zengaku-risyuuannai.pdf) ・ 成績評価に関する申し合わせ (履修案内に掲載) (https://www.tottori-u.ac.jp/secure/5967/2019zengaku-risyuuannai.pdf) 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの成績評価に係る指標の算出方法は、成績のA、B、C、D、Fランク法で、A、B、C、Dを合格点、Fを不可とし、このランクにA(90点~100点)は4.0、B(80点~89点)は3.0、C(70点~79点)は2.0、D(60点~69点)は1.0、F(59点以下)及び不履修(E)は0のそれぞれ数値(GP:Grade Point)を与え、学期ごとに、学生個々の履修科目のGPにその科目の単位数をかけ、その総和を履修登録科目の総単位数で除して算出した数値としている。</p> <p>学生は、学務支援システムにおいて、所属する学部・学年単位で、自身の成績の分布状況を把握することができる。(2020年3月までには、学部・学科・学年等詳細に表示可能とする予定。)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.tottori-u.ac.jp/2556.htm</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学の卒業認定・学位授与の方針は以下のとおり。 鳥取大学は、学生が本学における学修と経験を通じて次の能力を身につけたときに学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2. 現実に生起する様々な諸課題を探求し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 3. 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心をもち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 4. 高い倫理観及び責任感をもち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力 <p>なお、各学部において、卒業の要件を明示し、教授会にて修得単位数等を踏まえ卒業判定を行い、卒業を認定している。 また、各学部等でディプロマ・ポリシーを定め、そのディプロマ・ポリシーに示す能力等の修得度に関する可視化について、全学的に取り組んでいる。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>(地域学部) http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html (医学部) https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/ (工学部) https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-idea (農学部) http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鳥取大学
設置者名	国立大学法人 鳥取大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
収支計算書又は損益計算書	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
財産目録	-
事業報告書	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
監事による監査報告(書)	https://www.tottori-u.ac.jp/1376.htm

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tottori-u.ac.jp/2796.htm

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域学部
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域をつくりあげている諸要素（社会・文化・自然）に関する幅広い知識を修得し、それらを相互に関連づけて理解する高度な思考力を養成します。 2. 地域にある様々な公共的課題を探究するために必要な知的好奇心を養います。 3. 批判的判断力、創造的表現力、コミュニケーション力を発揮して、地域社会の課題解決にたずさわる実践力を磨きます。 4. 最終的に、高い倫理観と責任感をもって地域社会の再生・持続的発展に貢献できる人材の養成を目指します。
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要）</p> <p>地域学部は、学生が本学における学修と経験を通じて次の能力を身につけて、所定の単位を修得した時に学士の学位（地域学）を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会、文化、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした、地域の公共的課題の探究に関わる深い知識・理解、方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2. 地域に生起する様々な諸問題を探究し解決していくのに必要な論理的思考力、批判的判断力、創造的表現力 3. 地域の現実問題に対して幅広い視野と興味・関心を持ち、主体的・自律的・継続的に学び続けることができる生涯学習力 4. 高い倫理観及び責任感を持ち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協力・共同して地域社会を創造する社会的実践力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要）</p> <p>上記の学位授与方針で示した能力を学士課程の入学者全員が身に付けることができるよう、次の基本的な考え方で教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学修の動機を明確にして、主体的に学修に取り組めるよう、大学入門科目及び学部・学科の専門に関わる入門科目を設けるなど初年次教育を位置づけます。 2. 教養豊かな地域学士を養成するため、全学共通科目と学部の専門科目をバランスよく提供します。 3. 総合的な地域学に関わる基本的な知識と実践力の修得のため、学部共通科目として、地域課題に対する学際的な視野・枠組みを学ぶ理論系の「地域学系科目」、実践的探究力の修得を目的とする「実践科目」、そして関連分野に関する知識を学ぶ「学部基礎科目」を設定します。 また、これらをテーマに応じて総合し結実する「専門ゼミ」と「卒業研究」を設けます。 4. 基本的な専門性に関する知識と方法論を修得させるため、各コースにコース科目を設定します。 5. 理論に関する「地域学系科目」や「コース科目」と「実践科目」との相互往還を年次進行とともに進め、4年次の卒業研究で総合的な結実を図る、理論・実践相互往還型の融合的なカリキュラムを設定します。

6. 他者と協働して、地域の諸問題を実践的に解決できる力を養うために、対話型・共同参加型の授業の展開に努めるとともに、海外を含めたフィールドワークなど活動的学びを積極的に取り入れます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html ）
（概要） 地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探究し、地域の持続的な発展に貢献したいと願う人を求めます。

学部等名 医学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/idea.html ）
（概要） 鳥取大学医学部は山陰地方の歴史と伝統ある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限らない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。 医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。 生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成する。 保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/ ）
（概要） （医学科） 1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢 2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力 3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協力・共同して医療・研究を行う能力 4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力 5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力 （生命科学科） 鳥取大学医学部生命科学科は、学生が本学科における学修と経験を通じて、以下の生命科学や基礎医学の研究者および生命科学関連の専門的職業人に求められる基本的能力や特性を身につけたときに学士（生命科学）の学位を授与します。 1. 自然科学をはじめ一般的な教養に関する幅広い知識と、生命科学および基礎医学に関する深い知識の習得と理解、これら知識の獲得のための方法と技能 2. 生命科学研究の遂行に必要な基本技術とその原理の理解、解決すべき問題を自ら設定できる問題探索力、問題を適切な方法により解決に導く問題解決力

3. 国際的な広い視野を備えた柔軟かつ論理的な思考力、独創的な発想力
4. 生命科学における真理の探求や新しい技術の開発の重要性に対する深い理解、従来の常識や先入観に左右されない態度、他者と共同して研究を進めることができる協調性
5. 生命科学を学んだものとしての高い倫理観と責任感

(保健学科看護学専攻)

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻では、鳥取大学の卒業認定・学位授与の方針に加え、以下の能力や特性を身につけたときに学士(看護学)の学位を授与します。

1. 看護職者の役割と責務を理解し、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、倫理的に行動する能力
2. 看護の基礎となる人間と健康生活を理解し、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得、さらに、あらゆる対象の健康生活のために科学的根拠に基づいて実践する能力
3. 対象者の利益のために保健・医療・福祉をはじめ種々の関係者と連携・協働し、調整する能力
4. 看護学の発展のために、看護実践の中から課題を自律的に探求し、論理的・創造的に解決し続ける能力

(保健学科検査技術科学専攻)

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻では、鳥取大学の卒業認定・学位授与の方針に加え、次の能力や特性を身につけたときに学士(保健学)の学位を授与します。

1. 幅広い視野から人間を理解し、倫理的に行動する態度と姿勢
2. 臨床検査学の高い専門的知識と技術
3. 医療人としてのコミュニケーション能力、思考力、判断力、協調性
4. 地域のみならず国際的な医学・医療の発展に貢献できる科学的探究能力

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/>)

(概要)

(医学科)

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までに医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。
2. 人間力を高めて、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
3. 学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。
4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施します。
7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。
9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学術交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機

付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

(生命科学科)

鳥取大学医学部生命科学科は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次に掲げる方針のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 全学共通科目では、自然科学をはじめ一般的な教養を学ぶとともに、医学・生命科学を支える基礎的な知識および技術の習得を図ります。
2. 専門科目では幅広い医学知識、専門性の高い生命科学知識、生命科学研究に必要な基礎技術の習得および生命倫理の理解を図ります。また、論理的思考力、独創的な発想力、的確な表現力およびコミュニケーション能力を育成します。同時に、真理の探求や新しい技術の重要性に対する理解を促します。
3. 最終年次における「生命科学特別研究」により、上記の力を向上させるとともに問題探索力、問題解決力の育成を図ります。
4. 上記を通じ、生命科学や基礎医学を探究する研究者の育成、および生命科学の知識と技術を活かし、生命科学と臨床医学や産業界との橋渡しができる専門的職業人の育成をめざします。

(保健学科看護学専攻)

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻は、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 鳥取大学のグランドデザインの柱である現代的教養と人間力を身につけるために文化・社会・自然に関する幅広い科目を編成します。
2. 全人的医療人の基盤として、こころ・身体・社会の構造と機能について学習し、さらに、看護学の視点から生活者の健康について学習できるカリキュラムを展開します。
3. 看護の対象、看護実践の場、健康にかかわる課題、実践の方法についての学習を充実します。看護実践を通して、看護の本質を追究する姿勢を身につける教育を重視します。
4. 生涯にわたり専門性を高めていく姿勢を持ち、主体的に看護を追究するために人間力を高め、理論的追求および実践的追求の方法を学習できるカリキュラムを展開します。

(保健学科検査技術科学専攻)

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、教育課程を編成し、実施します。

1. 幅広い知識と確かな実践力をもった人材を育成するために、バランスのとれた教養教育と専門教育を行います。また、自律的な生涯学習力を養成します。
2. 臨床検査技師に必要な科目を中心に、専門科目を体系的に学べるよう教育課程を編成します。臨床検査技術の習得につながる実習科目を充実します。
3. 医療人として必要な医学の専門科目に加え、コミュニケーション能力を育成する科目を設置し、他者との違いを理解し、他者を思いやる心と倫理観を涵養します。大学病院を含む多様な医療施設で実習を行い、臨床現場での体験学習を充実させます。
4. 課題研究などの問題解決能力・創造的表現力を育成する科目を設置します。医学部他学科との合同講義を設け、最先端のバイオサイエンスや医学・医療の実際を学べる教育課程を編成します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/>）

（概要）

（医学科）

1. 医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3. 問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4. 思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方もつ人
5. 医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6. 地域・国際医療に関心をもち、貢献したいと考えている人

（生命科学科）

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成します。

1. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学び、向上・発展させる研究活動に興味をもてる人
2. 真理探究の意欲に燃え、創造的目標の達成にチャレンジし、勉学・自己研鑽に労力をおしまない人
3. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

（保健学科看護学専攻）

保健学科看護学専攻では、看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を養成します。

1. 健康に関わる様々な問題について、深く広い関心のある人
2. 新たな知識の探求や柔軟な発想、論理的な思考の基礎となる学力のある人
3. 相手の言葉に耳を傾け、相手の立場を思いやることができ、自らも的確に表現する力のある人
4. 他者と協調し、信頼関係を築き、主体的に行動できる人
5. 自ら課題を見出し主体的、創造的に探究して自己の成長を目指す人

（保健学科検査技術科学専攻）

保健学科検査技術科学専攻では、生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成します。

1. 科学的な思考力、判断力、表現力があり、主体的に学ぶ意欲のある人
2. 医学・医療や生命医科学を学ぶための基礎的な知識・技能のある人
3. 倫理観を備え、周囲の人と協調して行動できる人
4. 地域の医療・保健に加えて、国際的にも貢献したいと考えている人

学部等名 工学部
教育研究上の目的（公表方法： https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-idea ）
（概要） 本学部は、人類の福祉と社会の発展に資するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行うとともに、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-policy ）
（概要） 鳥取大学工学部では、鳥取大学の「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえ、専門分野の特色に基づいて学科毎に定められた科目を履修し、所定の単位を修得した学生に対して、以下の能力・素養を身につけたことを認め、学位を授与します。 1. 地球の環境と人類の幸福・福祉を考え、社会に対する責任や倫理観を自覚する知的・道徳的能力基礎知識や専門知識に基づいて総合的・系統的に思考し、新技術開発や問題解決を行う能力 2. 自律的・主体的・継続的に学習する能力 3. 論理的な記述、発表、討議などのコミュニケーション能力 4. 多様な価値観や地域特性、文化的背景の存在を踏まえ、柔軟で視野の広いものの考え方ができる能力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-policy ）
（概要） 鳥取大学工学部では、本学部の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し実施します。 1. 全学共通教育と合わせて専門分野を中心とした特色ある教育課程を学科毎に編成します。 2. 専門の技術・知識を応用し、総合的な能力を向上させる場として卒業研究を行います。 3. 工学技術に関する倫理教育の機会、最新の技術動向や専門知識に触れる機会を提供します。 4. 実験、演習など能動的に能力を磨く教育を展開します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-policy ）
（概要） 鳥取大学工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。 1. 地球の環境、人類の幸福・福祉に関心を持ち、社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人 2. 基礎知識や専門知識を学習し、学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人 3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人 4. 他者の意見を聞き、自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人 5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ、それを活用する意欲のある人

学部等名 農学部
教育研究上の目的（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/ ）
<p>（概要）</p> <p>現在、地球上では、急激な人口増と過剰な人為作用によって、食糧問題とともに、様々な環境問題が起きています。これらの問題を解決するために、農学に対する社会からの期待は極めて大きく、農学の果たすべき役割は21世紀においてますます増大しています。自然と人類との共生という観点からも、農学は極めて重要な責務を担っており、その可能性は大きく無限です。</p> <p>農学部創設以来、砂丘地農業の開発や二十世紀梨の生産などをはじめとする地域の農林畜産業の振興に大きく寄与してきましたが、現在では、植物の遺伝子解析や生物の機能開発などに関する生命科学、砂漠化防止や緑化など特に乾燥地の環境問題、森林や湖沼などの生態系の保全と修復に取り組んでいます。また、地域だけでなく、世界各国との国際農業協力など、常にグローバルなレベルで積極的に特色ある展開をしています。獣医学科でも、基礎、応用、臨床分野にわたる広い領域を対象とし、SARS 対策、人獣共通感染症である鳥エンフルエンザの解明、環境汚染物質による海洋生物への影響、キチンキトサンによる動物医薬品の開発など、特徴ある研究に取り組んでいます。</p> <p>教育面についても、幅広い知識とともに実践する力をもち、社会の中核となりうる教養豊かな積極的な人材の育成を目標としており、室内実験からフィールドまで、学生の多様な要望に応えるべく、例えば海外研修など特徴ある教育コースとカリキュラムを用意しています。鳥取大学農学部は、2004年度の文部科学省の3つの競争的重点事業、「特色ある大学教育支援プログラム」、「21世紀COEプログラム」、「地域貢献特別支援事業」に参加し、すべて採択されました。これら3つの事業をすべて採択された大学は、全国700余の大学のうちわずか8校です。このことから、鳥取大学農学部のこれまでの教育と研究が高く評価されたことが分かります。今後さらに高いレベルを目指して、教職員学生一体となって協力を進め、魅力ある特色ある教育と研究を進め有能な国際性豊かな人材育成を進めていきたいと考えています。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>農学部は、大学の卒業認定・学位授与方針に加え、学生が各学科における学修と経験を通じて、次の要件を満たしたときに「学士（農学）」または「学士（獣医学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2. 現実に生起する様々な諸課題を探究し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 3. 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心をもち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 4. 高い倫理観及び責任感をもち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 農学部は、大学の教育課程編成・実施の方針に加え、動植物のいのちを育む力、守る力、探求する力を養う教育を実践します。そのために「専門科目」または「専門教育科目」を通じて、基礎的専門知識と課題探求能力を備え、実践力のある人材を育成出来る様な教育課程を編成し、実施します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 大学の入学者受入の方針に示した人材像に加え、農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食料、環境、いのちについて強い関心を持ち、自主的、自発的に学ぶ意欲を持つ人 2. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.tottori-u.ac.jp/2438.htm</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
地域学部	—	25人	27人	10人	1人	0人	63人
医学部	—	52人	36人	33人	79人	0人	200人
工学部	—	53人	38人	6人	29人	0人	126人
農学部	—	42人	32人	11人	10人	0人	95人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				254人			254人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：鳥取大学研究者総覧 (URL： https://www.tottori-u.ac.jp/1023.htm)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域学部	170人	176人	103%	700人	795人	113%	0人	0人
医学部	265人	273人	103%	1,297人	1,337人	103%	5人	5人
工学部	450人	462人	102%	1,800人	1,924人	106%	0人	0人
農学部	255人	268人	105%	1,070人	1,116人	104%	0人	0人
合計	1,140人	1,179人	103%	4,867人	5,172人	106%	5人	5人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域学部	194人 (100%)	16人 (8.2%)	161人 (83.0%)	17人 (8.8%)
医学部	267人 (100%)	42人 (15.7%)	109人 (40.8%)	116人 (43.4%)
工学部	430人 (100%)	206人 (47.9%)	219人 (50.9%)	5人 (1.2%)
農学部	221人 (100%)	52人 (23.5%)	156人 (70.6%)	13人 (5.9%)

合計	1,112人 (100%)	316人 (28.4%)	645人 (58.0%)	151人 (13.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
各授業担当教員が、シラバス記載要領に沿って、前年度の2月中旬までに授業計画(シラバス)を作成し、3月上旬にWebシステムにて公表している。
また、シラバス記載内容に不備がある科目を抽出し、当該科目の担当教員に改善を依頼することにより、本学における教育の質保証を高める取組を本学教育センターにおいて実施している。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域学部	地域学科 (地域創造コース)	124 単位	有・無	単位
	地域学科 (人間形成コース)	124 単位	有・無	単位
	地域学科 (国際地域文化コース)	124 単位	有・無	単位
	地域政策学科	124 単位	有・無	単位
	地域教育学科	124 単位	有・無	単位
	地域文化学科	124 単位	有・無	単位
	地域環境学科	124 単位	有・無	単位
医学部	医学科	193.5 単位	有・無	単位
	生命科学科	140 単位	有・無	単位

	保健学科看護学専攻	129 単位	有・無	単位
	保健学科検査技術科学専攻	130 単位	有・無	単位
工学部	機械物理系学科	126 単位	有・無	単位
	電機情報系学科	126 単位	有・無	単位
	化学バイオ系学科	126 単位	有・無	単位
	社会システム土木系学科	126 単位	有・無	単位
農学部	生命環境農学科	124 単位	有・無	単位
	共同獣医学科	191 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.tottori-u.ac.jp/2444.htm>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
地域学部	地域学科	535,800円	282,000円	0円	
医学部	医学科	535,800円	282,000円	0円	
	生命科学 科	535,800円	282,000円	0円	
	保健学科	535,800円	282,000円	0円	
工学部	機械物理 系学科	535,800円	282,000円	0円	
	電気情報 系学科	535,800円	282,000円	0円	
	化学バイ オ系学科	535,800円	282,000円	0円	
	社会シス テム土木 系学科	535,800円	282,000円	0円	
農学部	生命環境 農学科	535,800円	282,000円	0円	
	共同獣医 学科	535,800円	282,000円	0円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 入学料・授業料の免除及び徴収猶予、日本学生支援機構奨学金、修学支援事業基金奨学金、民間企業からの寄附を原資とする学内奨学金のほか、学生教育研究災害傷害保険への加入、学生旅客運賃割引証の発行などを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 卒業後の就職に代表されるキャリア形成を支援する全学的拠点として、教育支援・国際交流支援機構にキャリアセンターを設置し、学生の進路希望の多様化や、社会環境・経済動向の変化に応じて、入学時からのキャリア教育と就職活動への実践的なサポート体制を、全学的に整備している。正課教育におけるキャリア教育科目の開設、正課外の各種就職ガイダンスや個別相談等、きめ細やかな対応を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健管理センターでは、学生の健康診断の他、身体・心の健康相談・心の健康相談(カウンセリング)・けがに対する応急処置等を行っている。専任の教員(精神科医・内科医/脳神経内科医)、保健師、看護師、非常勤の学校医(精神科医・内科医)ならびにカウンセラー(臨床心理士)が、専門的立場で、学生の心身の健康サポートを行っている。 教育支援・国際交流支援機構学生支援センターでは、入学から卒業まで充実した学生生活を送ることができるよう学生の様々な悩みや相談に応じるとともに、学生生活全般に関する支援を行っている。また、修学上特別な配慮が必要な学生に対して、各学部と連携し、総合的な支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.tottori-u.ac.jp/4147.htm
--